



## つなぐちゃんベクトル

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会社内誌 臨時増刊 194号 2010.11.12 発行 社会政策研究所

### 「介護の日」でユニークな取り組みを発表—厚労省などがフォーラム

キャリアブレイン 2010年11月11日

厚生労働省と全国社会福祉協議会は「介護の日」の11月11日、東京都内でフォーラムを開催し、厚労省が募集した介護職員によるユニークな取り組みが紹介された。介護従事者や学生など、主催者発表で600人以上が来場した。

「介護職員による『ユニークな取組み』発表会」では、厚労省に推薦された62施設・事業所のうち4つが選ばれ、それぞれの取り組みを発表した。

介護老人福祉施設花友しらかわ（京都市）の加納恵子氏は、口腔ケアとしてパイナップルジュースを染み込ませたコットンクロスで利用者の舌を洗う取り組みなどを紹介。パイナップルの酵素と繊維によって、舌に付着した細菌や粘膜のかすのできる舌苔が取り除けるとし、このような活動で口腔内を清潔に保ち、誤嚥性肺炎や感染症の予防に効果があると述べた。また、

利用者の唇の動きや口腔内に残りやすい食材などを把握できることから、食材を適切な大きさやとろみ加減に調整でき、口腔ケアが食事ケアにもつながるとした。

総合福祉施設修徳（同）のショートステイ事業所の谷内裕樹氏は、認知症の予防・改善のために行っている「学習療法」の教材を廊下に張り出す事例を発表した。難読漢字や世界各国の国旗、計算問題などの問題を廊下に掲示することで、机に置いておくよりも利用者が自然に興味を持ち、利用者同士が問題を話題にして交流するきっかけになる効果があると指摘した。

サンライフ彦坂（岐阜市）の特別養護老人ホームで働く服部誠司氏は、利用者それぞれの希望をかなえる「個別誕生日会」で、子どもとの交流を望む利用者には職員の子供を連れて来ることなどを紹介した。服部氏は、誕生日会を通して利用者が最も望んでいることを理解し、会が終わった後に継続して実現していくことが重要だと述べた。

小規模多機能ホームひだまり（福岡県大牟田市）の竹下一樹氏は、空き家を地域住民が交流するサロンに改装して「住民の互助心作り」を進めた結果、家族や介護サービスではカバーし切れない安否確認や食事の提供などを住民同士で行うことができたと言明した。



厚生労働省と全国社会福祉協議会は「介護の日」の11月11日、フォーラムを開催した（東京都内）

中身見えない「大阪都構想」論戦盛り上がり

読売新聞 2010年11月11日

大阪府の橋下徹知事が率いる地域政党「大阪維新の会」が、旗印に掲げる府と大阪市などの再編案「大阪都構想」の具体像を深めきれない。

半年を切った統一地方選に向け、約100人の立候補予定者を早々と決めるなど攻勢を強める同会。その一方で統一選の争点になるとみられる大阪都構想に関しては、橋下知事が「府議会、市議会で過半数を取ってから制度設計に入る。それまでは（詳細は）提示できない」と語るなど、中身の論戦は盛り上がらないのが実情だ。

#### タイタニック号

「僕は船長だから大阪が沈んでいるのがわかる。でも、もう1人の船長、平松邦夫・大阪市長はバイオリンを聴き、ワインを飲んで酔っぱらっている」

10月24日、維新の会が大阪市城東区で開いたタウンミーティング。橋下知事は、東京都と23特別区の関係モデルにした大阪都構想の骨格を示した上で、大阪をタイタニック号にたとえて危機感をあおり、「大海原に飛び込み、大阪丸を造り直そう。やるかやらないか、二者択一だ」と構想への賛同を迫った。

#### 低調

ただ、具体的な特別区の区割り案や、大阪都と特別区の財源配分などは現時点では明確でなく、民主党の岡田幹事長は同17日に大阪入りした際、「あまりにもざくっとした議論」と指摘、大阪市解体に抵抗する平松市長も、「中身が見えない」と批判を繰り返す。

府議会でも都構想を正面から取り上げた論争はない。構想は府の政策ではなく、維新の会という政治団体の主張に過ぎないためだ。橋下知事は「知事の立場で論じることができない」とのジレンマを抱える。

他会派には「突っ込まれてボロが出るのを恐れ、中身の説明を避けている」との反発も少なくないが、長田義明議長は同27日の記者会見で、「特定の政治団体の主張を、知事が議会で発言するのは不適切だ」と述べ、府議会での質疑を控えるよう知事と各会派に求める考えを明らかにした。

#### 迷走

橋下知事の発言のぶれも構想を分かりにくくする。

例えば大阪市を特別区ではなく、複数の市に分割する案。法改正不要で都制よりハードルが低いと8月下旬に打ち出したが、複数の市の間での財源調整が困難として先月9日撤回した。

堺市の扱いも宙に浮く。橋下知事は当初、2～3の特別区に分ける案を示していたが、最近では「堺市は府との役割分担ができてきている」と述べるようになった。同市は4年前に政令市に昇格したばかりで、「再分割への市民の抵抗感が強い」（維新の会幹部）との事情もあるとみられる。

構想の大枠のみを掲げて賛否を突きつける橋下知事らに対し、具体像の提示を迫る平松市長や既成政党。論争はかみ合わないままだが、橋下知事は「民主党のマニフェストだって財源はあいまい。細かいことは後から詰めればいい。大きな方向性を示すのが政治家の仕事」と意に介さない。

たまには太陽の子・手をつなく、たまにはつなぐちゃんベクトル、たまにブログたまにはチェック



大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなく育成会 社会政策研究所発行